

| | | | | | |
|------|-----------------|---|-----------|-------------|-------------------|
| 講義名 | 小売国際化論/グローバル流通論 | | | 授業形態 | |
| 担当教員 | 白 貞王 | | 開講期・曜日・時限 | 後期 木曜日 2 時限 | |
| | 単位数 | 2 | 履修開始年次 | 2 年生 | ナンバリング・コード DIS281 |

主題と概要

小売国際化論(グローバル流通論)は、流通においてグローバル化という現象がどのような動きとして現れているかを理論的に分析することである。この授業では、小売企業の国際競争力をテーマにし、小売企業はいかにして国際的に競争力を発揮するかの問題を探らねばならない。この課題を達成するためには、「小売国際化」の基礎理論を学び、その理解を前提として複数のケースを取り上げて現状を正確に把握する。そうすることによって、現代の流通論に欠かせない小売国際化論(グローバル流通論)を身につけることができる。

到達目標

- (1) 現代の流通論に欠かせないグローバル商品調達・店舗ネットワークの構造や世界市場の動向をより客観的に検討することが可能になる。ひいてはグローバル流通戦略の立案と実行ができる能力を発揮できるようになる。
- (2) 地球規模で商品やサービスを世界の消費者に届けるために、消費者のニーズを読み解き、分析する力や小売システムの仕組みおよび構造を分析する力を身につけ、様々な異なる環境条件に応じた流通戦略を提案することができる。
- (3) グローバル・ネットワーク化の必要性や企業間の競争関係を理解しておくことで、業界の動向や問題点を理解する力を身につけられる。これを基に、小売業界、ひいては流通に関する問題探索、課題提案ができるようになる。
- (4) 国内市場定住する世界を舞台に活動することでよりダイナミックな流通の動態が理解できるようになり、現状分析や企業の新しい成長戦略の構築にも結びつけることができるようになる。
- (5) 本国とは異なる進出先国の市場特性および環境要因を理解し、比較分析することにより、多文化共創に活躍できるグローバル人材の育成につながる。

提出課題

- 小レポート(2回)および期末レポートについて授業中に解説を行い、採点結果を公表する。
- 小レポート(2回)
- 1回目の課題：「未知なる市場を拓く」ために、コンビニに必要な戦略とは？動画で紹介されたミニストップのカザフスタン市場開拓を事例として説明しなさい(1,000字程度)。
 - 2回目の課題：スシローが「韓国市場進出」に直面した問題と、それをどのように克服しようとしていたのか？動画で紹介されたスシローの韓国展開を事例として記述しなさい(1,000字程度)。
- 期末レポート
- 【期末レポートに用いる教材】
白貞王(2019)『小売業のグローバル・イノベーション：競争的相互作用と創造的適応』中央経済社
- 【課題内容】
・期末レポートに用いる教材の第1章から第10章までの興味深い章を1章選択する。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

- ・レポートの採点が終わった後、学生に提出を求めた課題について解説等を行う。

評価の基準

- 小レポート(50%)、期末レポート(50%)の2つにより総合的に評価する。
- ・レポートを作成する際に、以下の内容に注意してください。
 - 提出フォーマットに記載すること
 - 文章の書き方の基本を守ること
 - 1,000字程度の分量であること
 - 課題内容に従うこと
 - 授業中に視聴する動画の内容について触れること
 - やむを得ず欠席する場合(欠席理由に妥当性があると判断する場合)、事前に相談すること
 - 自分の見解を述べること
 - 参考文献リストをつけること

履修にあたっての注意・助言他

1. 教室内での私語および飲食、不要な出入りは禁止する。
2. 授業開始から15分後の入室は禁止する。
3. 授業中にやむを得ず手洗いに行き際は、許可を得てから行く。

教科書

| | | | | |
|---------------------|------|-------|------|---------------|
| ・小売業のグローバル・イノベーション。 | 白 貞王 | 中央経済社 | 3300 | 9784502298615 |
|---------------------|------|-------|------|---------------|

参考図書

| | | | | |
|----------------|------------------|-------|------|---------------|
| ・コンビニからアジアを覗く。 | 佐藤 寛・アジアコンビニ研究会編 | 日本評論社 | 2640 | 9784535559530 |
| ・欧米小売企業の国際展開。 | 佐々木保幸・鳥羽達郎編 | 中央経済社 | 3740 | 9784502318917 |
| ・日系小売企業のアジア展開。 | 鳥羽達郎・柳 純編 | 中央経済社 | 3300 | 9784502233814 |

その他

- ・キャンパスクロスを通じて資料を配布します。各自印刷をお願いします。
- ・印刷が多くなると、メディアセンター等での対応が困難になる場合がありますので、大量印刷が発生しないよう配慮をお願いします。

授業計画

- 第1回 小売国際化論への招待
- ・予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料の動画資料を見て自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること、教科書の該当箇所を必ず読んで、授業で積極的に発言・議論できるようにすること(150分)
 - ・復習内容：当日の授業内容を忘れないうちに講義ノートを整理し、授業内容の理解を深めること(90分)
- 第2回 第1章 現地新生小売企業はいかにして先端国際小売企業に生まれ変わるのか
- ・予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料の動画資料を見て自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること、教科書の該当箇所を必ず読んで、授業で積極的に発言・議論できるようにすること(150分)
 - ・復習内容：講義ノートを整理し、授業内容の理解を深めること(90分)
- 第3回 第2章 グローバル・イノベーションとは何か(前半)
- ・予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料の動画資料を見て自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること、教科書の該当箇所を必ず読んで、授業で積極的に発言・議論できるようにすること(150分)
 - ・復習内容：講義ノートを整理し、授業内容の理解を深めること(90分)
- 第4回 第2章 グローバル・イノベーションとは何か(後半)+小レポートの実施(第1回目)
- ・予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料の動画資料を見て自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること、教科書の該当箇所を必ず読んで、授業で積極的に発言・議論できるようにすること(150分)
 - ・復習内容：講義ノートを整理し、授業内容の理解を深めること(90分)
- 第5回 第3章 日本市場における先端国際小売企業と需要創造(前半)
- ・予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料の動画資料を見て自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること、教科書の該当箇所を必ず読んで、授業で積極的に発言・議論できるようにすること(150分)
 - ・復習内容：講義ノートを整理し、授業内容の理解を深めること(90分)
- 第6回 第3章 日本市場における先端国際小売企業と需要創造(後半)
- ・予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料の動画資料を見て自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること、教科書の該当箇所を必ず読んで、授業で積極的に発言・議論できるようにすること(150分)
 - ・復習内容：講義ノートを整理し、授業内容の理解を深めること(90分)
- 第7回 世界のファストフード業界における先端国際企業と現地新生企業の競争的相互作用
- ・予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料の動画資料を見て自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること、教科書の該当箇所を必ず読んで、授業で積極的に発言・議論できるようにすること(150分)
 - ・復習内容：講義ノートを整理し、授業内容の理解を深めること(90分)
- 第8回 第4章 内なるグローバルイノベーションと小売業態の発展(後半)
- ・予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料の動画資料を見て自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること、教科書の該当箇所を必ず読んで、授業で積極的に発言・議論できるようにすること(150分)
 - ・復習内容：講義ノートを整理し、授業内容の理解を深めること(90分)
- 第9回 第5章 現地新生小売企業の成長と国際化行動
- ・予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料の動画資料を見て自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること、教科書の該当箇所を必ず読んで、授業で積極的に発言・議論できるようにすること(150分)
 - ・復習内容：講義ノートを整理し、授業内容の理解を深めること(90分)
- 第10回 第6章 日本型OVSと韓国型OVSの生成・発展プロセス
- ・予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料の動画資料を見て自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること、教科書の該当箇所を必ず読んで、授業で積極的に発言・議論できるようにすること(150分)
 - ・復習内容：講義ノートを整理し、授業内容の理解を深めること(90分)
- 第11回 スターバックスのグローバル戦略

授業形態(アクティブ・ラーニング)

| | | |
|--------------------------------------|---|--|
| ア:PBL(課題解決型学習) | ○ | イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態) |
| ウ:ディスカッション、ディベート | | エ:グループワーク |
| オ:プレゼンテーション | | カ:実習、フィールドワーク |
| キ:その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) | | |

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

現代の流通論に欠かせないグローバル・ネットワーク化の必要性や企業間の競争関係を理解しておくことは業界の動向や問題点を理解する力を身につける。これを基に、小売業界、ひいては流通に関する問題探索、課題提案ができるようになる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

教材の中で質問に対しては、メールやキャンパスクロスでも対応するようにする。

実務経験の有無及び活用

備考